

Magnesia carbonica 炭酸マグネシウム $4\text{MgCO}_3\text{Mg}(\text{OH})_2 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$ [乳製品と発育不良]

Magnesium carbonate- $4\text{MgCO}_3\text{Mg}(\text{OH})_2 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$

BACK GROUND

Magnesia carbonicaは、白色粉末状の炭酸マグネシウムです。炭酸マグネシウムは、臨床の現場で制酸剤や緩下剤として、胃・十二指腸潰瘍や胃炎、神経性食欲不振、胃下垂症、胃酸過多症、便秘症などに使用されています。

炭酸マグネシウムを経口摂取すると、胃酸と反応して塩化マグネシウムを生成することによって、胃酸を中和し胃壁を保護します。炭酸マグネシウムは、水酸化マグネシウムと比較して、制酸作用発現が遅いです。胃の中で生成した塩化マグネシウムは、消化管の運動と分泌に影響して、緩下作用を起こします。また、一般的には、ベビーパウダーや歯みがき剤、パックの基剤、ドライシャンプー剤などの成分にも利用されています。

マグネシウムは、元素記号Mg、原子番号12、原子量24.3050の銀白色のアルカリ土類金属に属する金属元素です。金属元素としては、宇宙にもっとも多く存在する元素と推定され、リチウム、ナトリウムについて3番目に軽い金属です。

マグネシウムは、動物と植物の生体内で数多くの非常に重要な役割をもつミネラルの1つです。Mgが欠乏すると、主に、各種酵素の機能低下、神経筋伝達の興奮、精神障害、電解質均衡異常、心臓伝導系機能に影響します。そのため、活力が低下し、無気力になり、食欲不振、吐き気、嘔吐、神経過敏、ふるえ、痙攣、頭痛といった症状になります。

マグネシウムの低下は、片頭痛の原因の1つになるとされ、片頭痛発作中、脳マグネシウムは約20%減少しているという報告もあります。また、頭部外傷後のマグネシウムの欠乏は、神経細胞の回復に悪影響を与えるとされています。通常、マグネシウムの欠乏は、慢性下痢や栄養不良に原因し、長期にわたる過量の発汗や授乳でもマグネシウムが減少します。

Mg過剰は、反射低下、筋脱力、運動失調、錯乱、吐き気、嘔吐、顔面潮紅、徐脈、低血圧、PR間隔延長、QRS時間の延長、T波の増高、AVブロック、呼吸停止、昏睡、心停止などを引き起こします。緩下剤や制酸薬の過剰服用による報告があります。

FIRST PROVING

ハーネマン

MIND

Magnesia carbonicaは、発育不全の幼児に適したレメディです。乳汁を飲むのを嫌います。Magnesia carbonicaタイプは、とくに子供や女性に多く、筋肉が脆弱で、寒がりです。子供は、ヘルニアになっていることもあります。体力がなく、日中に眠くなりますが、夜になると落ち着きがなくなり、なかなか眠れません。痛みも夜に悪化する傾向があります。そのため、起床時に疲れが残り、数時間は体調があまり良くありません。

感情的に不安定で、イライラして、音や触られることなどの外界からの刺激に非常に過敏になります。ついカッとなって、自分でもコントロールできないことがあります。それでも喧嘩は嫌いな平和主義者です。それは、自分の衝動的な感情が出てくるのを避けるためです。

このタイプは、幼少の頃に孤児であったり、孤独に育ったり、両親の喧嘩が絶えない環境で育っていることもあります。その影響で、迷子になった夢を見ることがあります。

物を書いているときに、ボーッとしてしまう傾向があり、そのために学校の勉強が遅れてしまいます。本を読むのが苦手なこともあります。

寒がりですが、外の空気が好きです。喉は渇くほうです。食べ物では、肉が好きで野菜を食べませんが、その逆のこともあります。牛乳は不耐性で飲みません(飲むと吐いたり、下痢してしまいます)。汗は酸っぱい匂いがします。

AFFINITY

Magnesia carbonicaは、主に消化器系、肝臓、神経系(とくに顔面、歯など)、頬骨に作用します。

CLINICAL APPLICATIONS

■消化器系

- ・**消化不良：乳製品を食べることによって起こります。**胃酸過多は、乳製品で悪化します。放屁が多くなります。胃酸が上がってきて、口の中で酸っぱい味がすることがあります。酸っぱいおくびも出ます。
- ・**乳児の下痢：ミルクに不耐性のために起こります。**緑色の下痢で、泡が混ざります。しぶりは見られません。下痢の前にお腹が痛くなります。
- ・乳児の便秘

・肝炎

■神経系

- ・痙攣：ミネラル不足になっている華奢な子供、胃酸過多の消化不良を伴います。
- ・痛み：このレメディタイプの場合、さまざまな疾患の痛みで使用されます。痛みは、急に突き抜くような痛みで、神経経路を走ります。しびれや麻痺感も伴います。痛みは、夜や休息時に悪化します。動いたり、患部を圧迫したり、座ったり、前にもたれかかると楽になります。
- ・顔面神経痛：主に左側。熱い物を突き刺すような痛みや電気ショックのような痛みを感じます。
- ・頸肩腕神経痛：夜や休息時に悪化します。
- ・歯痛：夜に悪化します。歯が伸びすぎたような感覚を伴います。冷たい水で一旦楽に感じますが、後で悪化してきます。

■生殖器官

- ・月経困難症：強い痛みがあります。希発月経（過少月経）で暗赤色の血が出ます。夜や休息時により多く出ます。月経前や月経中に体調が悪化することがあります。
- ・月経前症候群：上部気道系の不調になります。頭痛やめまい、感情の不調なども出てくることがあります。月経前にお腹が痛くなります。体を折り曲げると楽に感じます。

■その他

- ・眼瞼炎：ドライアイを伴います。
- ・白内障
- ・鼻炎：月経前に起こります。
- ・咽頭炎：月経前に起こります。
- ・鼻感冒：月経前に起こります。
- ・甲状腺機能亢進症：頸の周りの服が、頸部を圧迫しているようで、苦しく感じます。
- ・慢性疲労症候群

MODALITY

▶ 動くこと、暖かい空気、戸外での散歩、前かがみになることなど

▶ 牛乳、ベッドの温かさ、夜、月経前、月経中、1日おき、3週間ごと、気温の変化、休息、寒さ、隙間風、雨の日、湿気など

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Arsenicum album, Chamomilla, Mercurius, Nux vomica, Pulsatilla, Rheum
- ・ It antidotes : Aceticum acidum
- ・ Compatible : Causticum, Phosphorous, Pulsatilla, Sepia, Sulphur
- ・ Complementary : Chamomilla

Magnesia muriatica 塩化マグネシウム $MgCl_2 \cdot 6H_2O$ [平和主義者]

Magnesium chloride- $MgCl_2 \cdot 6H_2O$

BACK GROUND

Magnesia muriaticum は、塩化マグネシウムです。これは、海水を濃縮して塩を結晶させて取り出した残りの液体である、にがりの主成分です。現在は、他の微量成分が混じったままの天然のにがりが注目されています。

塩化マグネシウムは、吸湿性が高く、通常は六水和物 $MgCl_2 \cdot 6H_2O$ となっています。舐めると苦味があります。

FIRST PROVING

ハーネマン

MIND

Magnesia muriaticum タイプは、平和主義者です。大海の風のように、荒立ったことは嫌います。周りの人たちが、喧嘩をするだけでも耐えられません。周りの人たちの喜ばせたいという欲求をもっています。疲れやすいので、消極的で、他人に対してあまり強く出ることはしません。落ち込みやすい傾向があります。見た目も、皺が多く、皮膚が乾燥しがちのために、老けて見える傾向があります。

責任感や義務感が強く、真面目に仕事をこなします。それが、心配ごとの原因の1つにもなってきます。日中に一生懸命忙しくしているときには、不安は少ないのですが、夜、横になったときに、症状が悪化する傾